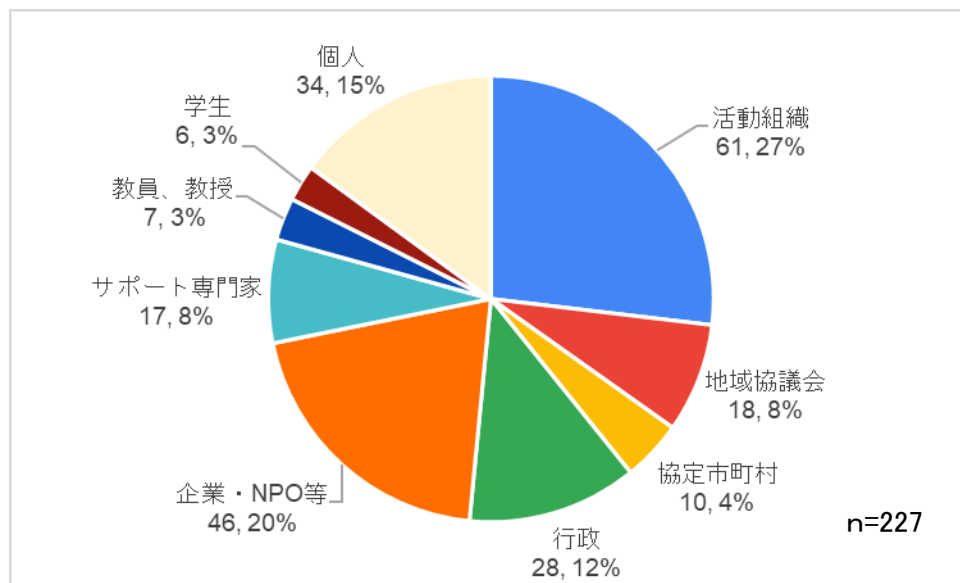


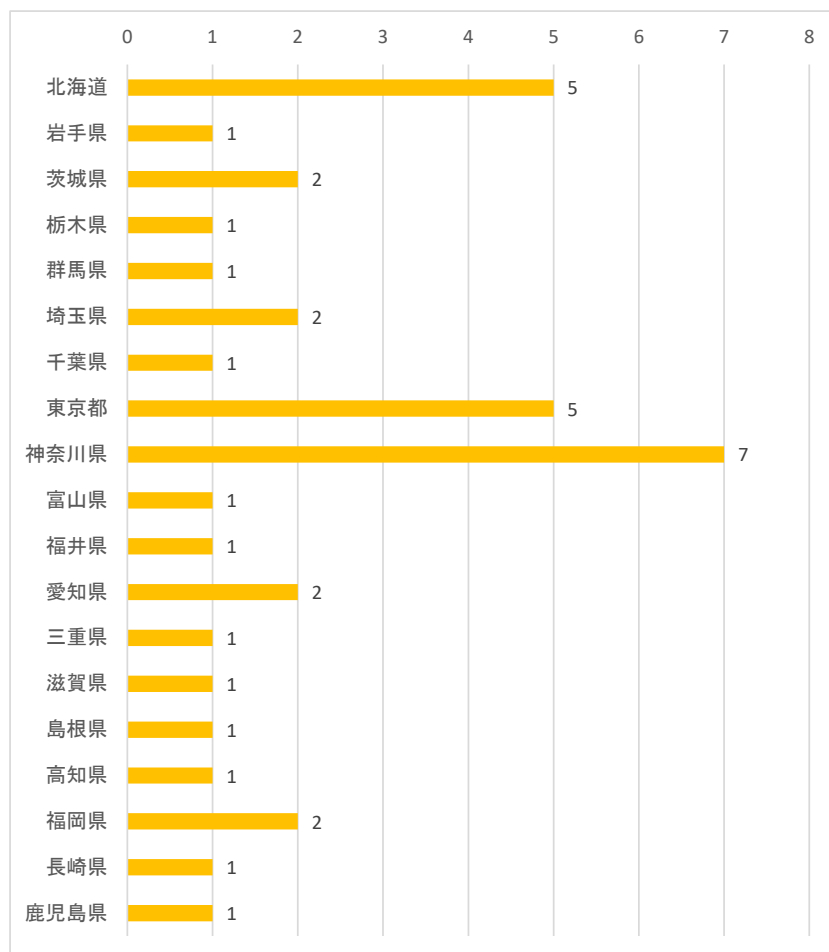
【ウェブ参加者のアンケート集計結果】

【当日のウェブ参加者の属性】（YouTube 入室時に選択）



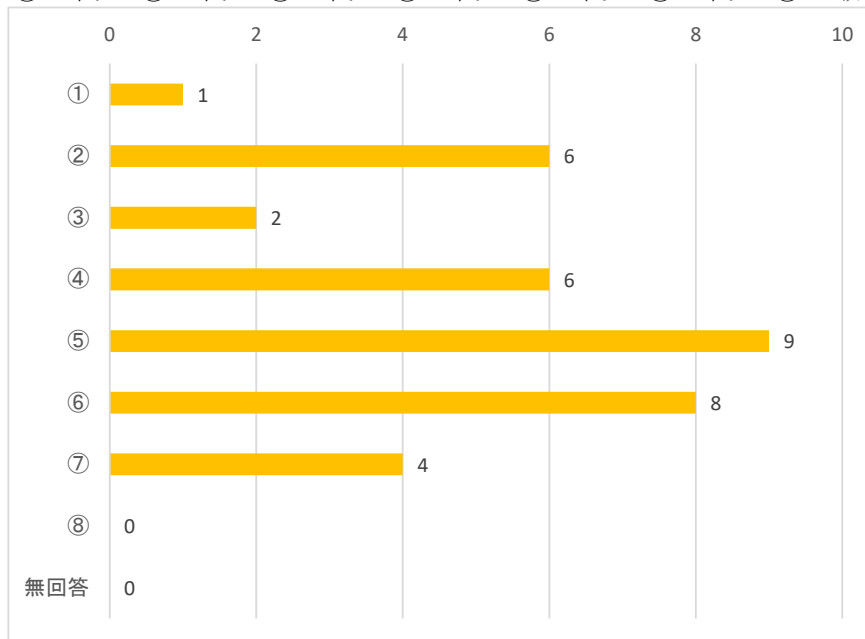
【アンケート回答】

1. お住まいの都道府県



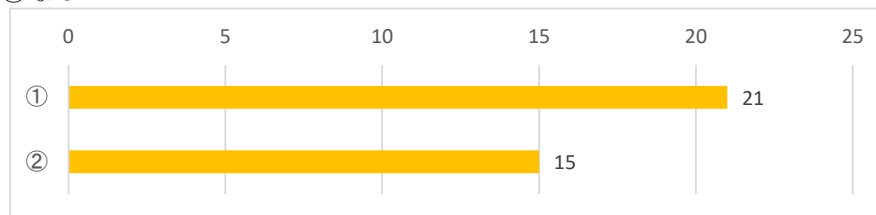
2. 年齢

①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80歳以上



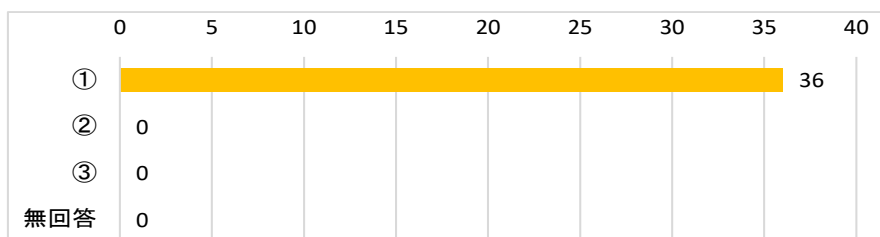
3. 過去の参加経験の有無

①あり ②なし



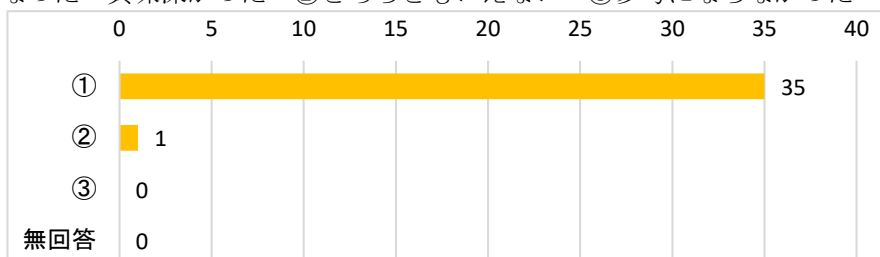
4. 講演について

①参考になった・興味深かった ②どちらともいえない ③参考にならなかった・興味がない



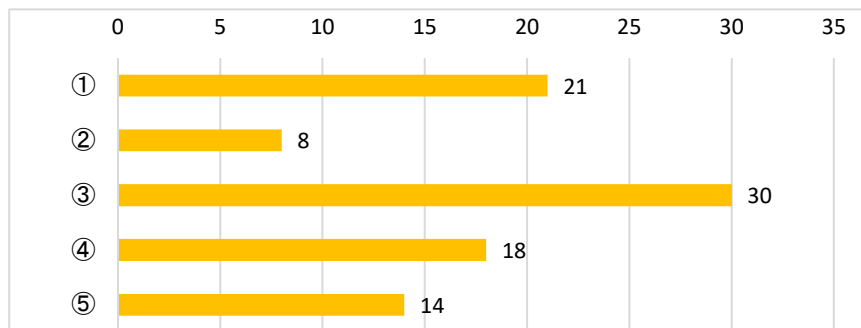
5. 活動報告について

①参考になった・興味深かった ②どちらともいえない ③参考にならなかった・興味がない



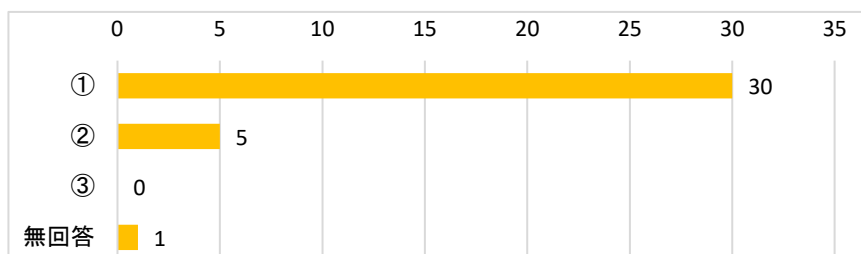
6 興味の湧いた活動組織（複数回答可）

- ①盛川の環境を守る会 ②奥尻地区水域監視活動組織、奥尻地区海の監視活動組織
③葉山アマモ協議会 ④美浜町漁場環境保全会 ⑤恩納村美ら海を育む会



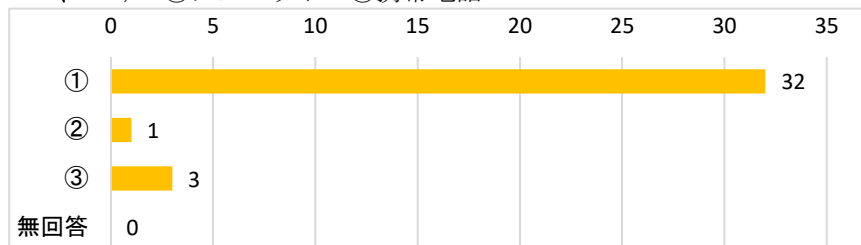
7. ディスカッションについて

- ①参考になった・興味深かった ②どちらともいえない ③参考にならなかった・興味がない



8. 視聴媒体の種類

- ①PC（Windows、mac） ②タブレット ③携帯電話



①基調講演について（6件）

- ・興味深い話題提供を有り難うございました。大変参考になりました。
- ・堀先生の講演は新鮮味があって、興味深かった。
- ・環境学習としての海藻おしば教室でブルーカーボン・海の森の大切さを伝えていますが、「ブルーカーボンって聞いたことがありますか？」という問いかけに、知らないと答える参加者（大人～子どもまで）がまだまだほとんどです。シンポジウムでいろいろな活動報告やディスカッションで、頑張っている方々の話が聞けました。自分の活動でも引き続き、海藻に興味を持ってもらい、海の森・海の環境保全に関心を持ってもらえるよう普及啓発活動の継続する大切さも改めて感じました。スタッフの皆様・登壇者の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・岩手県にあります大槌町役場産業振興課で藻場保全を担当しております芳賀と申します。大槌町の水産多面的機能発揮対策事業活動組織「大槌町藻場再生協議会」の事務局も行っております。私自身もダイバーとして藻場再生に関わる身ではありますが、今回の講演は大変参考となりました。当地域でもブルーカーボンクレジットの認証を目指して今後展開を図りたいと考えていたところであり、神奈川県葉山町様の事例報告を始め、堀先生のご講演な

ど、現在当方が必要としている情報について多く知ることができました。本日お話しされていた留意点等を踏まえ、今後の活動に活かして参りたいと思います。

- ・ブルーカーボンについては具体的な数値などを細かく示しながらご説明いただいたのでその有用性が良く分かりました。また、今後の展望や実際の取り組みなどについてもより一層の発展が期待できる分野であると感じました。活動報告については、それぞれの地域の課題を的確に捉えて地域性などと絡めることで課題解決がなされている点が非常に興味深かったです。手段を決めた上で実際に結果が出ている点は素晴らしいと思った反面、そのような結果が得られたのは取り組みの成果なのか、外部要因が大きいのかなど結果の検証をよりしっかりと行うことで今後の活動であったり、同様の課題を抱えている地域にもより役立つのではないかと考えました。いずれのお話も非常に興味深くとても勉強になりました。このような勉強の機会をいただきありがとうございました。
- ・ブルーカーボン等勉強になった。水産多面的機能発揮対策事業では事業により採捕及び増殖した生物等の販売は禁止だと思うが、今後増殖した藻場等によるブルークレジットの取扱について説明が欲しかった。本県においては、土日祝日の開催では勤務外での対応となることから、Web を含め参加者が減少している。

②活動報告について（4件）

- ・全国の里海に関する取り組みについて、まとめたものをPDF か書籍にて、発行してもらいたいと思いました。千葉県は他府県よりも水産技術が遅れており、他府県の活動を技術移転することが多いのが現状です。漁業法、内水面漁業規則の改正により、日本人と川、海との繋がりについて、今後力を入れていかなければならないことから、様々な事例を紹介してほしいです。
- ・各地で「人と人のつながり」で、がんばっていらっしゃるのは、とても参考になりました。今後の継続と他地区への波及とつながりを期待しています。
- ・継続は力なりで、末永く続けてください。世界に通用する活動だと思います。
- ・非常に参考になった。行政等の支援内容が不明で理解不十分、琵琶湖における外来性ミズクサが co2 での影響が分からない。湖沼環境ではどのようなミズクサ対策が必要か課題になった。

③報告会の構成等への意見・要望（1件）

- ・視聴機会が増えるのでWEBでの配信を続けてください。

④その他（10件）

- ・次回も参加したいと思います。
- ・とても勉強になりました。
- ・大変興味深く聴講することが出来ました。
- ・資料を事前に送っていただき、ありがとうございました。
- ・なかなか盛りだくさんで、参加者の知的好奇心を満たすには時間が足りなかったのではないかと思います。チャット欄に書き込んだ事項ですが、以下の点、今後のシンポジウム等でご勘案いただけると幸いです。本日はありがとうございました。漁獲高は湖沼海域の生産力の指標となり得るものと考えています。漁業を営めるのは漁業権を有する者だけなので、水産業の面でなく、生産力情報の発信源として環境再生の面からも漁業者は重要な存在です。湖沼海域の再生においては、漁業者が漁獲高、操業努力量（位置と時間）を適切に記録して、自らの漁場管理状況を公開することが重要と考えています。お集まりの方々のご意見はいかがでしょうか。
- ・新聞紙上で今回のシンポジウム開催を知り初めて参加した。素人だがどの話題も興味深かった。次回開催があれば参加したい。
- ・水産高校に通う高校生です。今回のシンポジウムを聞き、新たな知識を増やすことができました。ありがとうございます。私自身、高校で個人研究を行っているのでプレゼンテーション方法や研究の行い方など大変参考になりました。次年度のシンポジウムも視聴したいと思います。ありがとうございました。

- ・全漁連事務局のご努力により「完璧な資料集」を作っていただいたので、事前に予習することができ、シンポジウムの基調講演・活動報告への理解を深めることができました。有難うございました。
- ・講演の初めの部分とディスカッションは都合により視聴できませんでした。後日、録画を視聴できるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。
- ・時間の経過を忘れるほど興味深い内容でした。1つ残念だったのは、チャット欄に連続投稿した方のせいでWEB参加者の意見が見えづらかったことです。内容も他の方に比べると稚拙で意味不明でした。次回から投稿回数を制限できないものでしょうか。（彼に限らず）完全に遮断するのではなく、1人1時間に1投稿までとして、守れない方は非表示といった具合にできないでしょうか。ご検討お願いします。

（4）各種媒体による情報提供

各地の取組の手法を他の地域での活動に活かすとともに、広く国民にも多面的機能発揮に資する活動に対する理解の増進を図るため、ウェブサイト等の媒体を活用して情報を発信した。

① ウェブサイト

昨年度に引き続き、活動組織やサポート専門家が作成した原稿をもとに各活動組織の「取組紹介ページ」を作成し、本事業のウェブサイト「ひとうみ.jp」にて公開した。

なお、今年度、自主的に原稿の作成やデータの入力、公開を行った活動組織は、●組織であった。

ウェブサイト「ひとうみ.jp」への月別アクセス数は8月が最も多く（12,024件）、次いで7月（2,928件）と続いた。一般の注目を集めたヒラタブンブク等の生物について調べるために8月のアクセス数が増加したものと考えられる。

また、最も多く閲覧されたページは「水辺の生き物図鑑（ヒラタブンブク）」（11,516回）であり、次いで「トップページ」（6,489回）であった。

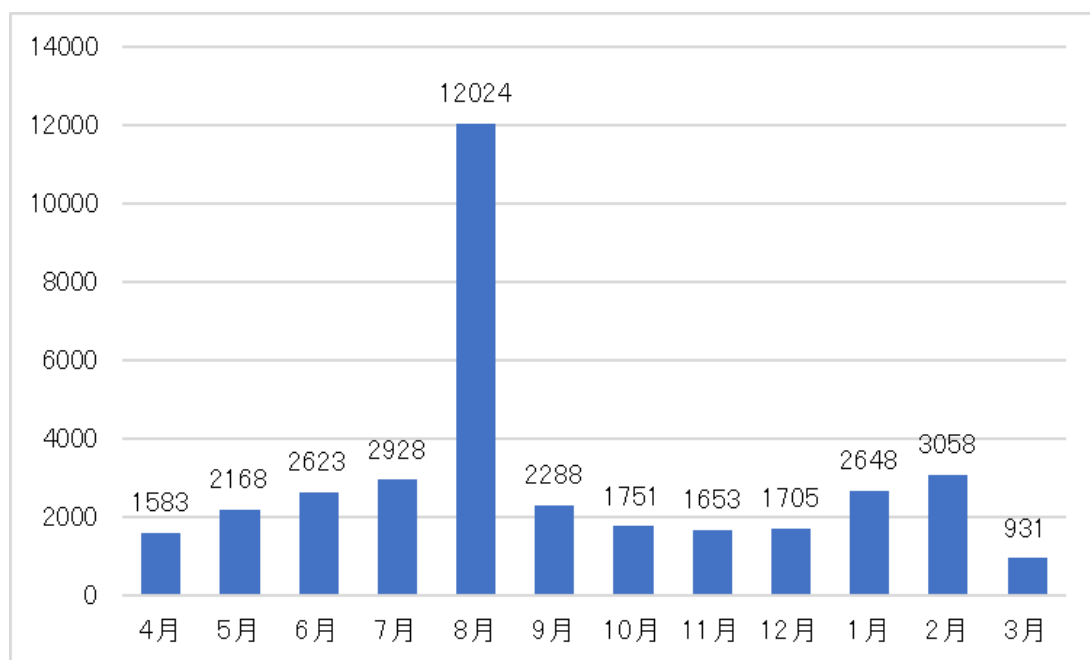


図 2-4-6 月別アクセス数（令和4年4月1日～令和5年3月17日）

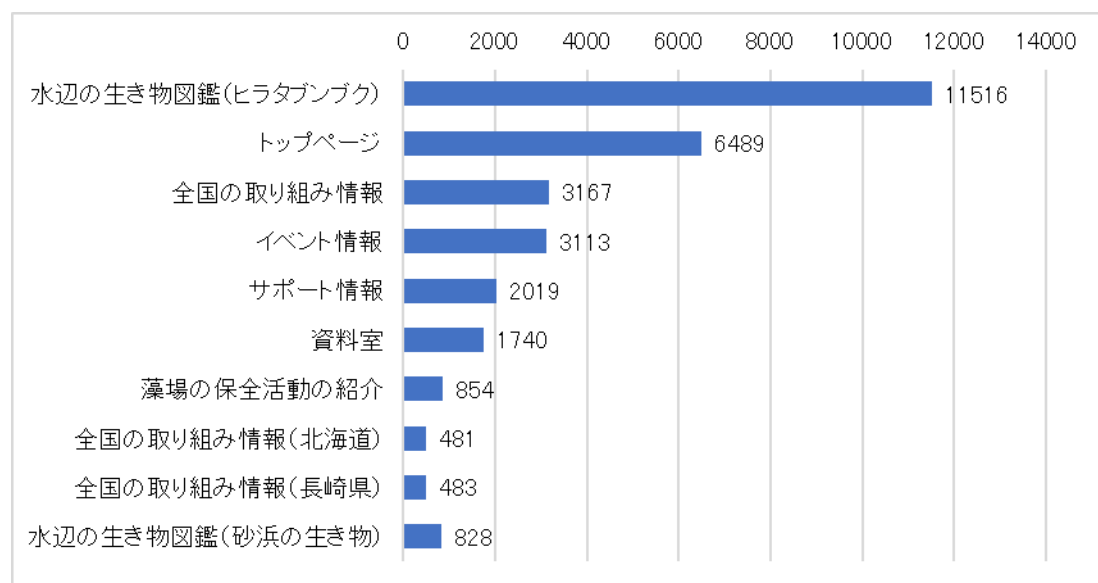


図 2-4-7 ページ別アクセス数（令和4年4月～令和5年3月17日）

② 新聞広告

上記事例報告会の開催にあたり、東京近郊を中心に紙面を提供している東京新聞及び事例報告者の地元紙（北海道、三重県、徳島県、鹿児島県）の地方紙、読売新聞において報告会（シンポジウム）の告知紙面を掲載した。

なお、東京新聞では、パブリシティとしての記事が掲載されている（図 2-4-10）。

表 2-4-5 掲載紙名及び掲載日

紙名	配達エリア	掲載日	広告の種類
東京新聞	関東地方 (主に東京・神奈川・埼玉)	2023 年 1 月 21 日 (土)	紙面
北海道新聞	北海道	2023 年 1 月 23 日 (月) ～ 1 月 27 (金)	電子版
岩手日報	岩手県		
神奈川新聞	徳島県		
沖縄タイムス 琉球新報	沖縄県		
読売新聞	東京 23 区内	2023 年 2 月 4 日 (土)	紙面

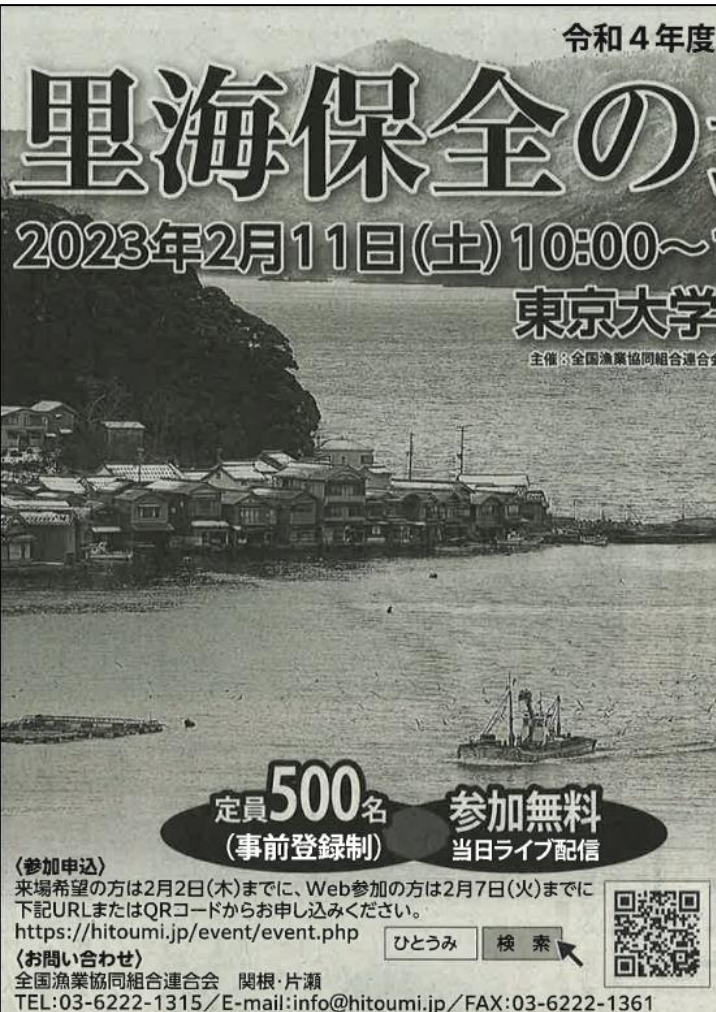
令和 4 年度 水産多面的事業シンポジウム

里海保全の最前線

2023年2月11日(土) 10:00～15:40 (9:00開場)

東京大学大講堂(安田講堂)

主催：全国漁業協同組合連合会／全国内水面漁業協同組合連合会／全国豊かな海づくり推進協会
後援：全国地方新聞社連合会



〈参加申込〉
来場希望の方は2月2日(木)までに、Web参加の方は2月7日(火)までに
下記URLまたはQRコードからお申し込みください。
<https://hitoumi.jp/event/event.php>

〈お問い合わせ〉
全国漁業協同組合連合会 関根・片瀬
TEL:03-6222-1315 / E-mail:info@hitoumi.jp / FAX:03-6222-1361

500名
定員 (事前登録制)

参加無料
当日ライブ配信

プログラム

10:15～11:00 ● 講演
**脱炭素社会に向けた
ブルーカーボンの役割と
今後の展開**
 堀 正和氏
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所
水産資源研究センター 社会・生態系システム部 沿岸生態系グループ長

11:10～11:50 ● 活動報告
【内水面生態系の維持・保全・改善】
盛川の環境を守る会(岩手県大船渡市)
【国境・水域の監視、海の監視ネットワーク強化】
奥尻地区海の監視活動組織(北海道奥尻町)

13:00～14:00 ● 活動報告
【藻場の保全】
葉山アマモ協議会(神奈川県葉山町)
【干潟等の保全】
美浜町漁場環境保全会(愛知県美浜町)
【サンゴ礁の保全】
恩納村美ら海を育む会(沖縄県恩納村)

14:10～15:30 ● ディスカッション
【コーディネーター】
八木 信行氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)



図 2-4-8 新聞への掲載（東京新聞）



図 2-4-9 電子版への掲載（地方紙 5 紙）

令和4年度水産多面的機能発揮対策シンポジウム

里海保全の最前線

水産業と漁村には、安全で新鮮な水産物を安定的に供給する役割の他、藻場や干潟等の沿岸環境、河川環境の保全、監視活動や海難救助活動、環境教育の場の提供など多面的な役割があります。本シンポジウムは、「水産多面的機能発揮対策」の一環として、全国の先進的、効果的な取り組みをご報告し、みなさまに取り組みへの理解とご協力をいただくことを目的としています。



2月11日 土 10:00～15:40 (9:00開場)

会場 東京大学大講堂(安田講堂)

定員 500名(事前登録制)

参加無料
(ライブ配信もあり)

お申し込み ライブ配信をご希望の方もお申し込みをお願いします。
2月7日(火)までに、下記URLか右記二次元コードよりお申し込みください。
<https://hitoumi.jp/event/event.php>
※個人情報は本シンポジウムの運営のみに使用します。



<お問い合わせ> 全国漁業協同組合連合会(関根・片瀬)
TEL:03-6222-1315 E-mail:info@hitoumi.jp FAX:03-6222-1361
<主催> 全国漁業協同組合連合会/全国内水面漁業協同組合連合会/
全国豊かな海づくり推進協会 <後援> 全国地方新聞社連合会

[ひとうみ](#) [検索](#)

図 2-4-10 新聞への掲載（読売新聞）

③ 定期的な活動情報の発信

昨年度に引き続き、SNS のような簡単な形で組織の活動の様子を投稿できる「活動情報」のページへ全漁連から定期的に記事の投稿を行った。

2 月 28 日までにアップロードした記事の内容を表 2-4-6 に示す。

表 2-4-6 投稿を行った活動情報

月日	道府県	記事の内容
5 月 31 日	鹿児島県	日置市多面的環境保全協議会の藻場保全活動の紹介
6 月 28 日	長崎県	外海地区活動組織の藻場保全活動の紹介
7 月 29 日	新潟県	加茂湖活動組織の藻場保全活動の紹介
11 月 30 日	徳島県	竹ヶ島海域公園のエダミドリイシサンゴを守る会の小学生への出前授業の紹介
12 月 28 日	三重県	活動組織による藻場保全活動シンポジウム開催のお知らせ
1 月 24 日	東京都	令和 4 年度シンポジウム開催のお知らせ
2 月 27 日	東京都	令和 4 年度シンポジウム開催後の報告

④イベント出展

表 2-4-7 に示すイベントに出展し、水産多面的機能発揮対策事業の周知と事例報告会（シンポジウム）の告知を行った。

表 2-4-7 出展イベント一覧

催事名	日時	会場	主催者
東京湾大感謝祭 2022	2022 年 10 月 15 日 2022 年 10 月 16 日	横浜港大さん橋ホール	東京湾大感謝祭実行委員会
第 54 回全国小中学校環境教育研究大会	2023 年 1 月 28 日	オンライン開催	全国小中学校環境教育研究会

【東京湾大感謝祭の実施状況】

東京湾大感謝祭来場者に対し、水産多面的機能発揮対策及び水産多面的機能発揮対策事例報告会（シンポジウム）の周知を図ることを目的として実施した。



図 2-4-11 イベント案内（東京湾大感謝祭実行委員会ウェブサイトより）



ブース概観（設営）

クイズパネルの展示